

救急医療について

○第七次保健医療計画（抄） 救急医療

第七次保健医療計画の救急医療の項目において、次のとおり課題と対策を掲げている。

【課題】

救急医療を担う人材や設備が限られている中で、これら医療資源を効率的かつ効果的に活用した初期から三次までの体系的な救急医療体制の構築が必要です。

このため、今後も高齢化の進展に伴い救急需要の増大が予想されるなか、地域の実情に応じた初期救急医療体制の構築が必要です。

また、救急告示医療機関や病院群輪番制病院の役割分担を明確にし、三次救急医療機関の後方支援としての二次救急医療体制のあり方を検討する必要があります。

さらには、脳卒中や急性心筋梗塞等の専門的な医療や重症外傷や複数診療科にまたがる重篤な患者への医療提供が、救命救急センターを有する病院以外の病院においても行われていることから、三次救急医療体制のあり方についても検討する必要があります。

こうした検討に当たっては、平成 37 年（2025 年）に向けた平成 30 年（2018 年）の診療報酬・介護報酬の同時改定や地域医療構想を踏まえた病床の機能分化・連携の推進、在宅医療の推進を含めた地域包括ケアシステム構築の進捗状況、人生の最終段階における医療のあり方の議論の進展など、将来の医療需要や医療供給の大きな変動要因の状況を見極める必要があります。

【対策】

（2）医療機関の役割分担と連携体制の構築

- ① 関係市町や郡市地区医師会と連携しながら、在宅当番医制の実施や夜間急病診療所の運営などについて、各圏域の状況を踏まえた対応を協議します。
- ② 救急病院が行う救急医療機能の強化のための施設・設備整備や医師確保対策に係る支援を行います。
- ③ 各圏域の救急医療に関する現状分析や情報の共有化を図り、二次救急医療体制のあり方について、各圏域すべての二次救急医療機関の代表者が参加する地域医療構想調整会議を活用しながら、議論・検討を進めます。
- ④ 二次救急医療体制の検討に合わせて、新たな救命救急センターの設置の是非を含めた県全体の救急医療体制のあり方について、病床の機能分化・連携の推進など、将来の医療需要・医療供給の変動要因も見極めつつ、地元市町や医療審議会、地域医療構想調整会議など、関係機関の意見を聴きながら、計画期間中に結論を得ることができるよう、検討を行います。
- ⑤ 初期救急医療機関、二次救急医療機関及び三次救急医療機関相互の連携強化を図り、各傷病に対応した適切な救急医療が行われるよう努めます。

（4）救急医療に関する普及啓発

夜間救急電話相談事業の利用促進や、医療機関を受診する際のルールやマナーについて、関係機関と連携しながら普及啓発に努めます。

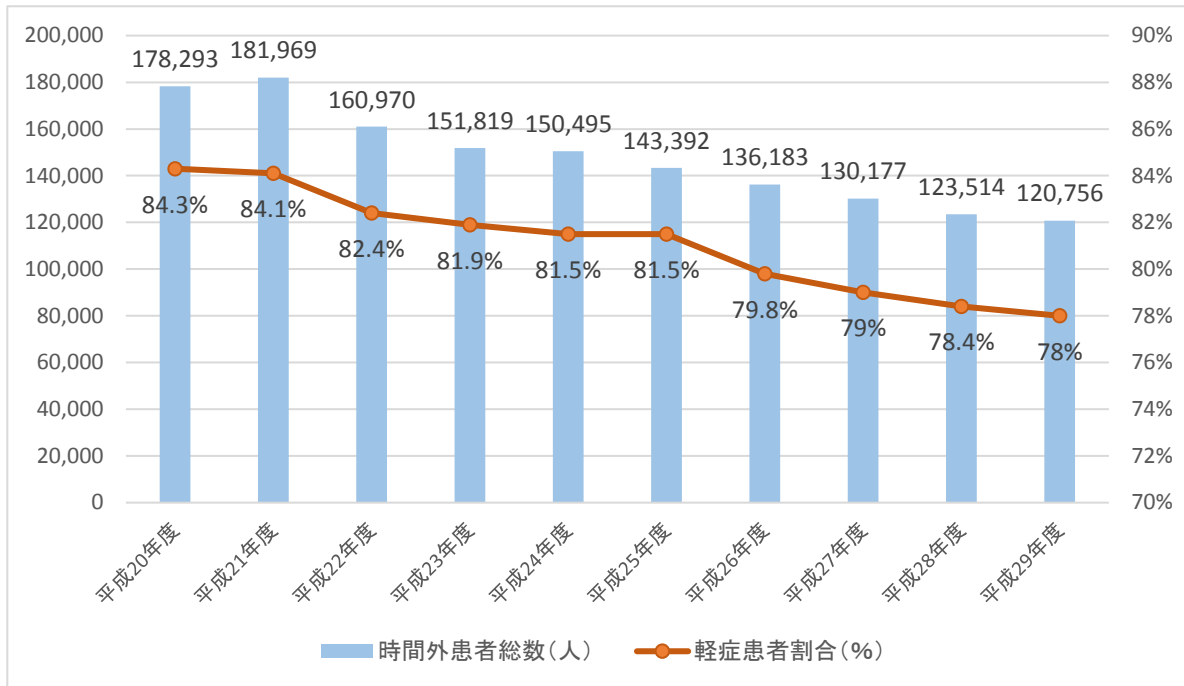
香 川 県 救 急 医 療 体 制

圏域名	市町名	圏域人口	初期救急医療機関		第二次救急医療機関		第三次救急医療機関	そ の 他
			休日夜間急患センター	在宅当番医制	制度名	施設名		
大 川	さぬき市 東かがわ市	80,130		大川地区医師会	病院群 輪番制	さぬき市民病院 県立白鳥病院	県立中央病院救命救急センター	香川県広域災害・救急・周産期医療情報システム「医療ネットさぬき」を運用。
					共同利用型 (小児救急)	さぬき市民病院内		
高 松	高松市 三木町 直島町	451,486	高松市 夜間急病診療所	高松市医師会 木田地区医師会 (他に、綾歌地区医師会のうち旧国分寺町の施設を含む)	病院群 輪番制	県立中央病院 高松市立みんなの病院 高松赤十字病院 香川県済生会病院 屋島総合病院 りつりん病院 KKR高松病院 高松平和病院 香川大学医学部 附属病院	香川大学医学部附属病院救命救急センター 三豊総合病院地域救命救急センター 四国こども	10病院を 災害拠点病院に指定。 災害拠点病院を含む 31病院を 広域救護病院等に指定。
						とおとなの医療センター (総合周産期母子医療センター・小児救命救急センター)		
小 豆	小豆島町 土庄町	28,442		小豆郡医師会		小豆島中央病院		
中 讃	丸亀市 坂出市 善通寺市 宇多津町 綾川町 琴平町 多度津町 まんのう町	288,309		丸亀市医師会 坂出市医師会 綾歌地区医師会 仲多度郡・善通寺市医師会	病院群 輪番制	坂出市立病院 香川労災病院 四国こどもとおとなの医療センター 滝宮総合病院 総合病院回生病院		
三 豊	観音寺市 三豊市	123,789		三豊・観音寺市医師会	病院群 輪番制	三豊総合病院 永康病院		
					共同利用型 (小児救急)	三豊総合病院内		

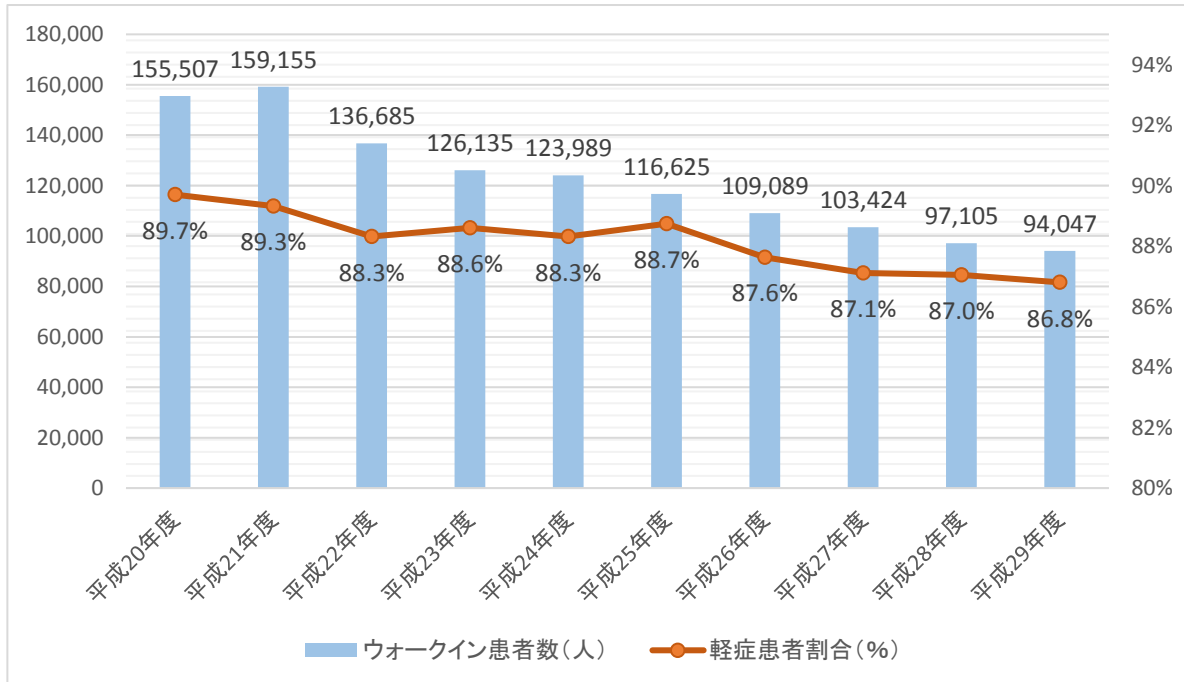
※平成29年9月1日現在（人口：平成28年10月1日現在）

（注）共同利用型とは⇒各圏域ごとに、病院の一部を開放し、郡市地区医師会等の協力のもと夜間の救急患者のを行うもの。

1. 時間外の患者数とそのうちの軽症患者(受診後帰宅した患者)の割合



2. 時間外のウォークイン患者数とそのうちの軽症患者(受診後帰宅した患者)の割合



出典：「救急患者数調査」(香川県)

救急病院の救急患者数の推移

1. 時間外の患者数の推移 ※休日当番日含む。

(単位:人)

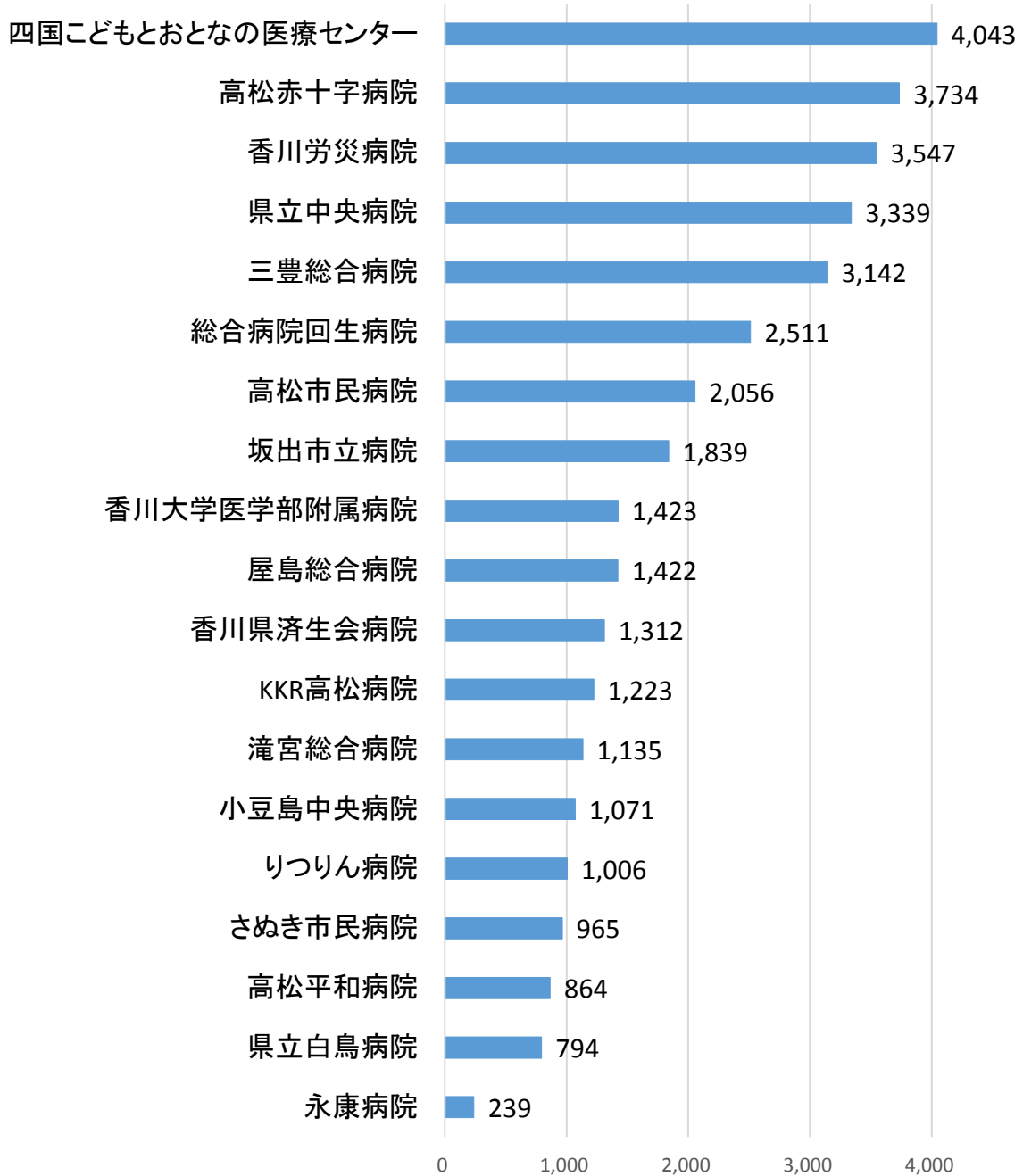
県	計	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	前年度比
	計	178,293	181,969	160,970	151,819	150,495	143,392	136,183	130,177	123,514	120,756	-2,758
	受診後帰宅	150,374	153,114	132,667	124,401	122,604	116,935	108,607	102,895	96,819	94,153	-2,666
		84.3%	84.1%	82.4%	81.9%	81.5%	81.5%	79.8%	79.0%	78.4%	78.0%	
	入院	26,793	27,665	27,205	26,355	26,461	25,252	25,685	25,485	24,869	24,580	-289
		15.0%	15.2%	16.9%	17.4%	17.6%	17.6%	18.9%	19.6%	20.1%	20.4%	
	転院・死亡	1,126	1,190	1,098	1,063	1,430	1,205	1,891	1,797	1,826	2,023	197
		0.6%	0.7%	0.7%	0.7%	1.0%	0.8%	1.4%	1.4%	1.5%	1.7%	
(2・3次病院の状況)												
	三豊総合病院	① 19,595	② 20,337	① 18,089	① 15,467	① 15,795	② 16,344	② 17,032	② 16,311	② 12,365	② 12,315	-50
	香川小児病院	② 18,829	① 22,016	② 17,829	② 14,600	② 13,795						
	四国こどもとおとなの医療センター(旧普通通寺病院)	⑦ 7,940	⑧ 7,474	⑦ 6,868	⑦ 6,768	⑦ 6,373	① 20,810	① 18,242	① 17,337	① 16,894	① 15,996	-898
	高松赤十字病院	④ 10,842	③ 11,072	③ 10,144	③ 11,509	③ 9,574	④ 9,218	④ 8,385	④ 8,229	⑤ 8,051	③ 8,431	380
	県立中央病院	③ 10,885	④ 10,764	④ 10,092	④ 10,054	④ 9,224	③ 9,787	③ 9,436	③ 9,163	④ 7,836	④ 7,642	-194
	香川労災病院	⑤ 8,589	⑤ 8,614	⑤ 8,490	⑤ 8,312	⑤ 8,481	⑤ 7,802	⑥ 6,736	⑤ 7,156	⑥ 6,712	⑧ 5,040	-1,672
	回生病院	⑨ 7,314	⑦ 7,813	⑥ 7,340	⑥ 6,898	⑥ 7,231	⑦ 5,526	⑤ 7,389	⑥ 6,965	⑤ 6,993	⑥ 5,953	-1,040
	さぬき市民病院	⑥ 8,138	⑥ 8,396	⑧ 6,100	⑧ 6,177	⑧ 6,339	⑥ 6,037	⑧ 4,843	⑧ 4,449	⑨ 4,281	⑩ 3,932	-349
	坂出市立病院	⑬ 5,555	⑩ 5,906	⑪ 5,370	⑨ 5,224	⑨ 5,199	⑧ 5,171	⑦ 5,489	⑦ 5,575	⑦ 5,634	⑤ 6,124	490
	高松平和病院	⑪ 5,722	⑩ 6,338	⑨ 5,865	⑩ 5,211	⑩ 4,923	⑪ 4,209	⑩ 3,699	⑩ 3,788	⑪ 3,556	⑨ 3,942	386
	屋島総合病院	⑮ 3,327	⑮ 3,443	⑮ 3,113	⑮ 3,118	⑪ 4,906	⑩ 4,519	⑪ 3,591	⑨ 4,046	⑩ 3,939	⑪ 3,633	-306
	高松市民病院	⑧ 7,709	⑨ 6,660	⑫ 5,316	⑫ 4,437	⑫ 4,737	⑨ 4,665	⑨ 4,173	⑫ 3,180	⑮ 2,742	⑭ 2,876	134
	小豆島中央病院 (H27年度までは上段: 土庄中央病院、下段: 内海病院)	⑫ 5,707	⑫ 5,638	⑩ 5,568	⑪ 4,847	⑬ 4,047	⑰ 2,768	⑱ 1,875	⑰ 1,489	⑧ 4,289	⑦ 5,059	770
	香川大学医学部附属 病院	⑩ 6,153	⑬ 5,135	⑭ 4,130	⑬ 3,873	⑭ 3,514	⑫ 3,361	⑫ 3,468	⑪ 3,267	⑫ 3,268	⑫ 3,281	13
	KKR高松病院	⑯ 3,093	⑰ 3,027	⑯ 3,023	⑰ 2,803	⑯ 3,362	⑭ 3,204	⑮ 2,940	⑰ 2,711	⑭ 2,749	⑮ 2,579	-170
	りっりん病院	⑱ 2,997	⑱ 2,925	⑰ 2,906	⑯ 3,069	⑰ 2,942	⑯ 2,828	⑭ 2,954	⑮ 2,671	⑯ 2,694	⑯ 2,461	-233
	済生会	⑲ 2,071	⑲ 2,029	⑳ 2,103	⑳ 2,034	⑱ 2,378	⑮ 2,841	⑬ 3,040	⑬ 2,963	⑬ 2,924	⑬ 2,908	-16
	白鳥病院	⑳ 1,732	⑳ 1,791	⑲ 2,173	⑲ 2,101	⑲ 2,204	⑱ 2,473	⑰ 2,268	⑰ 2,410	⑰ 2,181	⑱ 1,783	-398
	滝宮総合病院	⑰ 3,031	⑯ 3,119	⑱ 2,794	⑱ 2,700	⑳ 2,019	⑲ 1,716	⑲ 1,820	⑱ 1,734	⑱ 2,034	⑰ 2,215	181
	永康病院	㉑ 1,711	㉑ 1,711	㉑ 1,297	㉑ 1,229	㉑ 1,141	⑳ 1,003	⑳ 903	⑳ 965	⑲ 886	⑲ 858	-28

2. 1のうち時間外のウォークイン患者数 ※休日当番日含む。

(単位:人)

県	計	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	前年度比
	計	155,507	159,155	136,685	126,135	123,989	116,625	109,089	103,424	97,105	94,047	-3,058
	受診後帰宅	139,490	142,163	120,716	111,754	109,507	103,495	95,596	90,095	84,523	81,633	-2,890
		89.7%	89.3%	88.3%	88.6%	88.3%	88.7%	87.6%	87.1%	87.0%	86.8%	
	入院	15,650	16,615	15,758	14,174	14,011	12,859	12,705	12,446	11,736	11,455	-281
		10.1%	10.4%	11.5%	11.2%	11.3%	11.0%	11.6%	12.0%	12.1%	12.2%	
	転院・死亡	367	377	211	207	471	271	788	883	846	959	113
		0.2%	0.2%	0.2%	0.2%	0.4%	0.2%	0.7%	0.9%	0.9%	1.0%	
(2次・3次病院の状況)												
	三豊総合病院	② 17,553	② 18,250	② 16,061	② 13,147	① 13,324	② 13,934	② 14,479	② 13,964	② 10,191	② 10,184	-7
	香川小児病院	① 18,156	① 21,366	① 17,035	① 13,756	② 13,084						
	四国こどもとおとなの医療センター(旧普通通寺病院)	⑥ 6,912	⑥ 6,562	⑥ 5,945	⑤ 5,808	⑦ 5,472	① 18,123	① 15,478	① 14,536	① 13,912	① 13,117	-795
	高松赤十字病院	③ 8,961	③ 9,407	③ 8,337	③ 9,185	③ 7,376	④ 7,005	④ 6,045	④ 5,464	④ 5,184	③ 5,576	392
	県立中央病院	④ 8,249	④ 8,043	④ 7,430	④ 7,601	④ 6,931	③ 7,545	③ 7,005	③ 6,727	③ 5,695	④ 5,514	-181
	香川労災病院	⑧ 6,286	⑦ 6,399	⑤ 6,066	⑥ 5,746	⑤ 6,108	⑤ 5,365	⑥ 4,486	⑥ 4,804	⑦ 4,529	⑩ 2,758	-1,771
	回生病院	⑨ 5,659	⑧ 6,118	⑦ 5,825	⑧ 5,304	⑥ 5,490	⑧ 3,941	⑤ 5,712	⑤ 5,183	⑤ 5,045	⑦ 4,346	-699
	さぬき市民病院	⑤ 7,515	⑤ 7,694	⑧ 5,331	⑦ 5,336	⑧ 5,210	⑥ 5,347	⑧ 4,195	⑧ 3,908	⑧ 3,697	⑧ 3,386	-311
	坂出市立病院	⑬ 4,848	⑫ 5,124	⑪ 4,495	⑪ 4,306	⑨ 4,125	⑦ 4,114	⑦ 4,349	⑦ 4,504	⑥ 4,635	⑤ 4,889	254
	高松平和病院	⑪ 5,374	⑨ 5,775	⑨ 5,281	⑩ 4,453	⑩ 4,028	⑪ 3,362	⑩ 2,945	⑩ 3,041	⑪ 2,881	⑨ 3,349	468
	屋島総合病院	⑮ 2,821	⑮ 2,950	⑮ 2,463	⑯ 2,414	⑪ 3,816	⑨ 3,516	⑪ 2,660	⑨ 3,179	⑩ 3,020	⑪ 2,664	-356
	高松市民病院	⑦ 6,493	⑩ 5,515	⑫ 4,103	⑬ 3,307	⑬ 3,515	⑩ 3,477	⑨ 3,045	⑫ 2,395	⑮ 1,976	⑯ 1,644	-332
	小豆島中央病院 (H27年度までは上段: 土庄中央病院、下段: 内海病院)	⑫ 5,355	⑪ 5,292	⑩ 5,197	⑨ 4,485	⑫ 3,668	⑬ 2,414	⑱ 1,571	⑱ 1,194	⑨ 3,637	⑥ 4,360	723
	香川大学医学部附属 病院	⑩ 5,565	⑬ 4,559	⑭ 3,558	⑭ 3,251	⑮ 2,856	⑭ 2,716	⑬ 2,556	⑪ 2,462	⑫ 2,420	⑫ 2,414	-6
	KKR高松病院	⑱ 2,429	⑱ 2,326	⑱ 2,225	⑱ 1,935	⑯ 2,451	⑮ 2,360	⑯ 1,950	⑰ 1,765	⑯ 1,910	⑮ 1,794	-116
	りっりん病院	⑰ 2,617	⑰ 2,508	⑯ 2,350	⑮ 2,454	⑰ 2,378	⑯ 2,322	⑭ 2,468	⑮ 2,101	⑬ 2,181	⑭ 1,920	-261
	済生会病院	⑲ 1,867	⑲ 1,801	⑲ 1,912	⑲ 1,825	⑱ 2,124	⑰ 2,165	⑮ 2,288	⑭ 2,135	⑭ 2,091	⑬ 2,048	-43
	白鳥病院	㉑ 1,265	㉑ 1,332	⑳ 1,682	⑳ 1,614	⑲ 1,707	⑱ 1,870	⑰ 1,680	⑯ 1,812	⑰ 1,671	⑱ 1,286	-385
	滝宮総合病院	⑯ 2,619	⑯ 2,692	⑰ 2,315	⑰ 2,245	⑱ 1,573	⑲ 1,270	⑲ 1,253	⑲ 1,190	⑱ 1,413	⑱ 1,493	80
	永康病院	⑳ 1,567	⑳ 1,570	㉑ 1,166	㉑ 1,104	㉑ 1,031	⑳ 869	⑳ 772	⑳ 816	⑲ 761	⑲ 698	-63

平成29年度救急車受入件数（時間帯問わず）



出典：「医療Netさぬき」

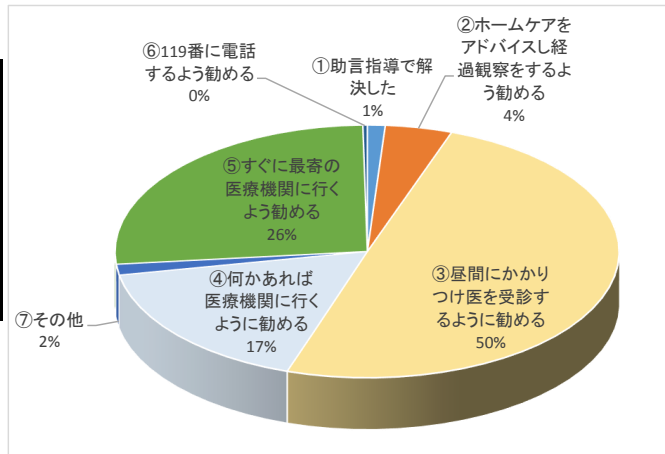
小児救急電話相談事業に係る平成29年度実績と傾向

■総括

- 全体の相談件数 12,946件 (35.47件/日) ※平成28年度：13,127件 (35.96件/日)
- 主な相談内容 発熱 3,734件(29%)、事故 1,378件(11%)、嘔吐 1,170件(9%)

■対応状況

内容	件数
①助言指導で解決した	147
②ホームケアをアドバイスし経過観察をするよう勧める	555
③昼間にかかりつけ医を受診するよう勧める	6,436
④何かあれば医療機関に行くよう勧める	2,184
⑦その他	179
⑤すぐに最寄の医療機関に行くよう勧める	3,408
⑥119番に電話するよう勧める	37
合計	12,946

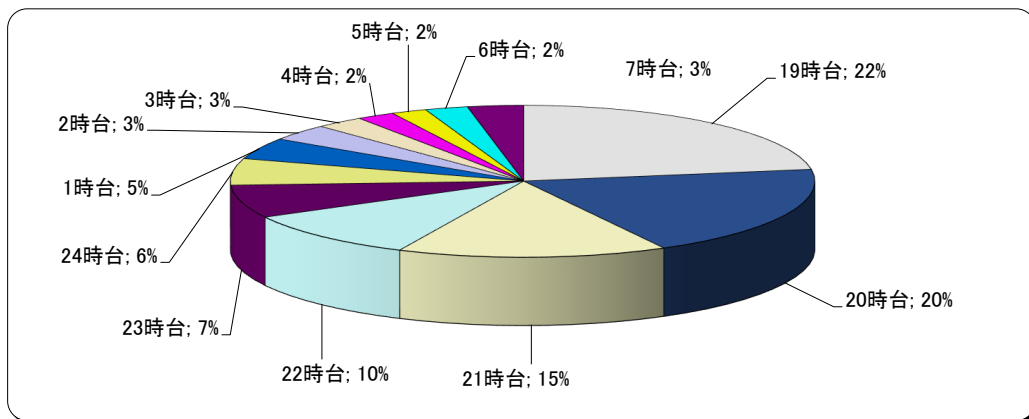


※医療機関への受診を一旦回避した件数は、9,501件で、全体の約73.4%にあたる。

■相談時間帯

時間	19時台	20時台	21時台	22時台	23時台	24時台	1時台	2時台	3時台	4時台	5時台	6時台	7時台	合計
件数	2,915	2,532	1,920	1,319	908	730	591	450	348	272	252	305	399	12,941

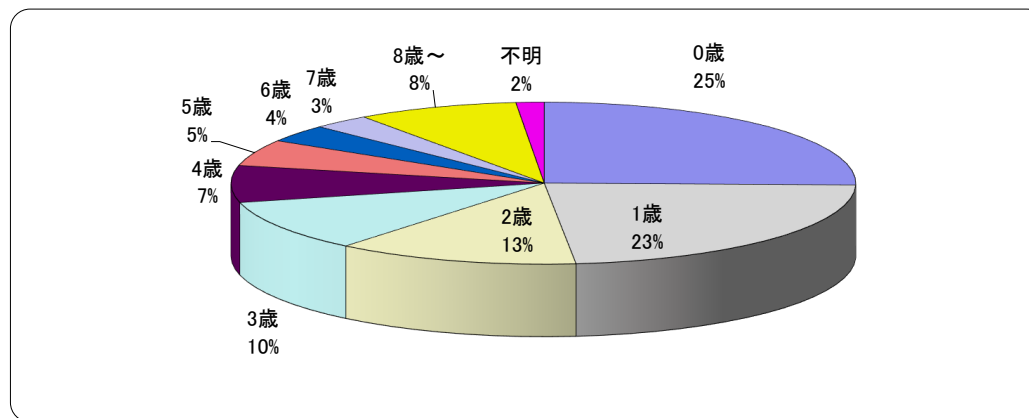
※その他 4件



※24時までの相談が9,594件で全体の約74%である。

■相談対象者の年齢

年齢	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳～	不明	合計
件数	3,284	2,980	1,619	1,327	952	680	452	384	1,080	188	12,946



※0～2歳までが7,883件で全体の約61%である。

一般向け救急電話相談事業に係る平成29年度実績と傾向

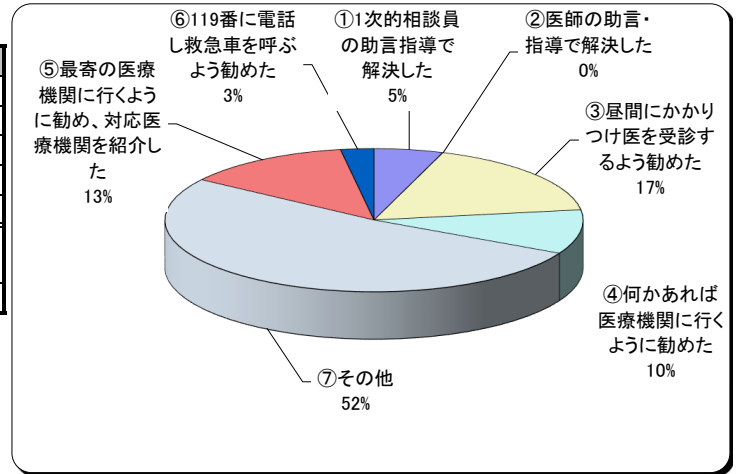
■総括

○全体の相談件数 10,668件 (29.23件/日)

※平成28年度：8,030件 (22.00件/日)

■対応状況

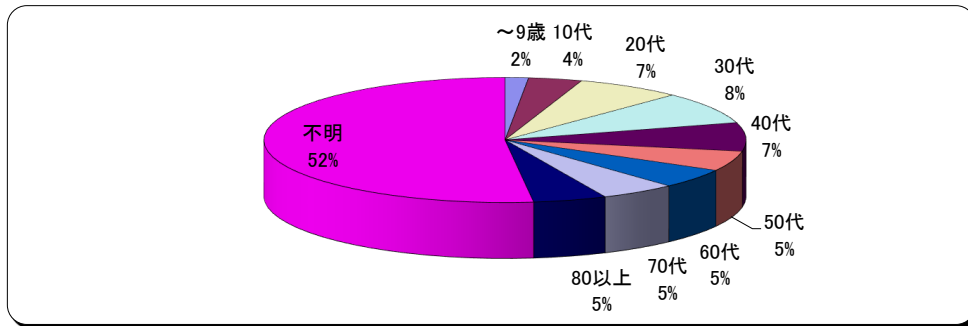
内容	件数
①1次的相談員の助言指導で解決した	569
②医師の助言・指導で解決した	2
③昼間にかかりつけ医を受診するよう勧めた	1,852
④何かあれば医療機関に行くように勧めた	1,064
⑦その他	5,532
⑤最寄の医療機関に行くように勧め、対応医療機関を紹介した	1,375
⑥119番に電話し救急車を呼ぶよう勧めた	274
合計	10,668



※医療機関への受診を一旦回避した件数は、9,019件で全体の約84.5%にあたる。

■相談対象者の年齢

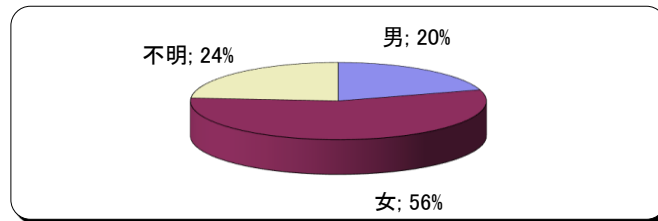
年齢	～9歳	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80以上	不明	合計
件数	167	383	757	884	787	552	538	540	524	5,536	10,668



※20代～40代が2,428件で全体の約23%にあたる。

■性別

性別	男	女	不明
件数	2,171	5,961	2,536
合計	10,668		



※女性が5,961件で全体の約56%にあたる。

■相談終了時点で相手は理解・納得したか

内容	件数	割合
納得した	10,659	100%
あまり納得していない風だった	5	0%
全く納得しなかった	4	0%
途中切れなど	0	0%
合計	10,668	

■相談の内容

症状	消化器科	循環器科	呼吸器科	精神科	小児科	外科	脳神経科	整形外科	眼科	耳鼻咽喉科	産婦人科	薬剤	その他	合計
件数	731	342	132	238	131	274	300	562	311	366	84	243	6,954	10,668
	6.9%	3.2%	1.2%	2.2%	1.2%	2.6%	2.8%	5.3%	2.9%	3.4%	0.8%	2.3%	65.2%	

来年度の取組み

○利便性向上のための電話番号の短縮ダイヤル化

小児救急電話相談（☎#8000）と同様に、
一般向け救急電話相談（☎087-812-1055）についても短縮ダイヤルを設定し、利便性の向上を図る。

○認知度向上に向けた広報の強化

夜間における県民の不安を解消するとともに、医療機関の負担を軽減するため、
JR高松駅ホームにおいて小児救急電話相談、一般向け救急電話相談のポスターを掲出し、認知度の向上、利用の拡大、患者啓発を図る。

イメージ



(労働政策課の例)